

2016年9月5日
株式会社リクルートキャリア

介護業界の就業人口を増やすプロジェクト「HELPMAN JAPAN」 大阪府茨木市より介護人材の定着支援を行う 「平成28年度中堅介護職員研修事業」を受託

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川昌紀）の介護業界の就業人口を増やすプロジェクト「HELPMAN JAPAN」は、大阪府茨木市より「平成28年度中堅介護職員研修事業」を受託致しました。この事業では、茨木市内の介護施設で働く、入職2～5年目の中堅介護職員を対象に、離職防止と次世代リーダー育成を目的とした「GROW UP！」研修を行って参ります。

■背景・目的

すでに超高齢社会を迎えた日本、介護従事者への需要は高まっています。しかし、2025年には介護人材の需給推計における需給ギャップは37.7万人に達すると推計され、介護人材の不足は深刻さを増しています。当社では、この課題に対して離職者の7割が入職3年未満の方々である事実に着目し、1) 入職1年未満の初心者向け研修「CHEER UP！」、2) 入職2～5年目の中堅向け「GROW UP！」、などの研修を開発すること等で定着支援を行っております。

大阪府茨木市は、大阪府の北部に位置し、交通環境の利便性や豊かな自然環境など恵まれた環境をいかし、27万人を超える都市に発展しました。しかし、数年後には総人口は減少する一方で、65歳以上の高齢者は年々増加すると予測されており、2040年（平成52年）には、3人に1人が高齢者になると想定されています。

昨年度、茨木市が介護事業者向けに行った調査では、実に70%の事業者が「介護人材が不足している」と回答しました。特に、入職3年目前後の若者の離職が多く、志を持って入職した若者を何とか支援したいが、自社研修を行うのが難しかったり、技術研修以外のノウハウがないという声が多くあります。また、新たに建設した介護施設において、介護職員の確保ができずオープンが遅れたという事態も起きており、介護人材の不足をいかに解消するかが、喫緊の課題となっています。

そのような背景から、今回は入職3年目前後の職員を対象とした研修「GROW UP！」を行うことになりました。この研修では、受講者自らの「やりがい」や「課題」にあらためて気づき、「もっと学べる」「もっと成長できる」と実感していただくことで、離職はもとより視座を高め、次世代リーダーとして活躍していただくことを期待します。

■実施概要

事業名称：平成28年度中堅介護職員研修事業

日時：2016年12月2日（金）10:00～18:00

対象：茨木市内の介護施設で働く、入職2～5年目の介護職員 24名

※法人様からのお申込みに限ります

※お申込みに関するお問い合わせはこちら

担当：介護保険課 認定給付係 森（072-620-1639）

内容：「GROW UP！」研修 ※詳細は次ページ参照

離職防止・次期リーダー育成を目的とした、1日完結型のプログラムです。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ宛
Tel:03-3211-7117 Mail : kouho@waku-2.com

<参考> 「GROW UP！」研修について

次期リーダー候補の育成、介護業界への定着を目的とした研修「GROW UP！」

当社では2016年5月より、介護業界の時期リーダー候補の育成と介護業界への定着を目的として、入職2～5年目の方々向けの研修「GROW UP！」をリクルートマネジメントソリューションズと協働開発し、提供を開始しました。この研修では介護職員の方々が「やりがい」や「課題」にあらためて気づき、「もっと学べる」「もっと成長できる」実感できるプログラムとなっています。2015年の試験運用期間に参加頂いた方の満足度は、100%でした。

「GROW UP！」の特徴

●モチベーション、働くにあたっての「視座」の向上を目指す

事業者自体の研修では、業務スキルや業務知識の向上を目的とするものが多いですが、今回の自社研修ではフォローしづらい「モチベーション」、働くにあたっての「視座」の向上について研修を行います。

●介護職員が日常と異なる立場・視点から、自分の仕事をふりかえり、期待や役割を見直す

管理者の立場から、ケースワークを通じて施設全体や業務プロセス・チームワークなどを考えることで管理者の立場を疑似体験し自分の立場への期待や役割を捉えなおすことで個別の問題解決ではなく、役割を拡大して、複数の問題を連続して捉えるようになります。

●研修による効果

①新しい視点の獲得

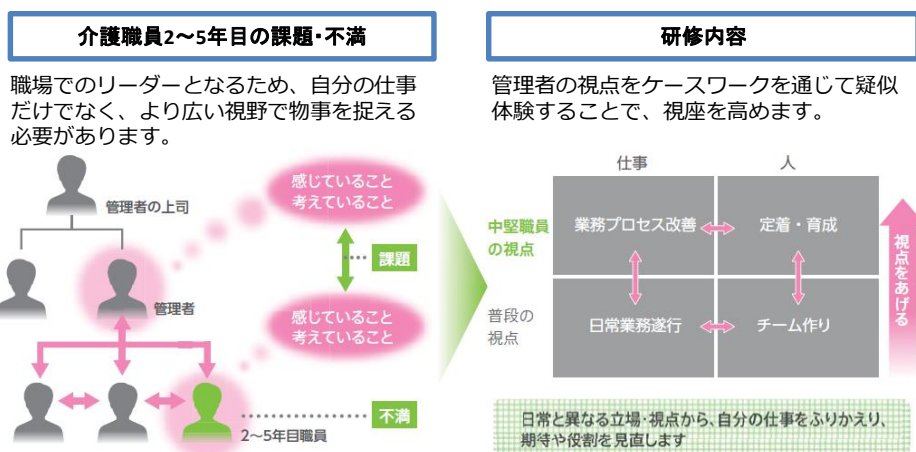
介護・仕事・職場を新しい視点で捉える

②役割の拡大（再定義）

視座を高め、今の仕事・職場での役割を広げる

③具体的な第一歩を定める

具体的に何をするか定め、行動しようと思える



『HELPMAN JAPAN』とは？

『HELPMAN JAPAN』は、3つのアプローチから介護業界の就業人口を増やすことを目的としたプロジェクトです。

↳①ブランディングー介護職の地位向上を目的とした情報発信

↳②採用支援ー就職フェア、大学での講演など

↳③定着支援ー離職防止研修開発、資格取得支援など

2010年から開始し、Webサイトでは、最新情報やインタビューな取り組みをしている方々のインタビューを通じて、介護業界についての情報発信を行っています。<http://helpmanjapan.com/>